

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	療育センターさくら草 たんぼぼ		
○保護者評価実施期間	令和 6年10月18日		～ 令和 6年11月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	令和 6年11月1日		～ 令和 6年11月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○事業者向け自己評価表作成日	令和 6年12月4日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育センター内にある通園施設のため、主治医、訓練士に子どもについての相談ができ、療育に活かせる。	必要に応じて、相談を行い、お子さんの支援に活かしている。	受診や訓練の日程を把握し、より早く療育に活かせるようにしていく。
2	月に1回以上、施設内研修を実施し、様々な角度からお子さんの支援について学ぶ機会がある。	講義を受ける研修だけでなく、グループワークを行い、どの職員も意見等が発言できる機会を作っている。	更に発展し、実演等も取り入れて、即療育に活かせる研修を実施していきたい。
3	親子通園を実施し、お子さんや療育について、保護者と共通理解を図ることができる。	保護者が希望する日に来園していただき、お子さんの集団の中での様子を知っていただくとともに、身辺自立面等の情報共有を行っている。	家族支援の観点から、きょうだい支援にも取組んでいきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流	医療機関であるため、感染症の流行時には、地域の方々と接することが難しかった。	今年度は地域の公民館にお子さんたちの作品を展示し、見学に行く予定である。今後、施設で実施しているものに地域の方を巻き込む方法で、交流を増やしていきたい。
2	様々なマニュアルを利用者に伝えきれていない。	必要最低限のものは伝えているが、マニュアルが多岐にわたり、伝えきれていないものがある。	利用者に当てはまる部分をピックアップして伝えるようにしていきたい。
3	日々の療育の振り返りの更なる取組み。	行事等の準備に追われているところがある。	行事や日々の業務を見直し、より充実した療育が実施できるようにする。

事業所名 療育センターさくら草 たんぼぼ

公表日 令和7年 2月 1日

利用児童数 44 令和6年 11月 6日

回収数 30

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	4	0	0	・3クラス集まっても、中にいる子、外に行く子とわかれてスペースをとれている。 ・人数に対して教室はもう少し広いといいなと思いました。 ・園庭に全クラス出ると、狭いと思うことがあります。(ぶつかりそう)	・ご意見ありがとうございます。 園庭や教室等の活動では密になることもあるため、職員同士で声を掛け合い、危険を予測し、安全に留意していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	26	4	0	0	・担任の他にお手伝いしてくれる先生もいたり、安心です。 ・クラスの中で、トイレに行きたい子、手を洗う子、お部屋にいる子とバラバラになっている時に足りないと感じる。	・ご意見ありがとうございます。 職員のその日の配置を綿密に話し合い、職員同士で声を掛けながらお子さんそれぞれの活動に対応させていただきます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26	1	0	3	・トイレも広くてありがたいです。	・ご意見ありがとうございます。 トイレは2クラスで利用しているため、なるべく重ならないように声を掛け合っで使用しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29	1	0	0	・とてもキレイで活動にあわせてある。 ・手洗い場が狭いのと、年少～年長の体格差もあるので高さが選べるといいなと思いました。	・ご意見ありがとうございます。 手洗い場につきましては、今後の検討課題とさせていただきます。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	2	0	1	・好きなことをのびせてくれる。好きなことで落ち着かせてくれる。	・ご意見ありがとうございます。 今後もお子さんに寄り添った支援をめざしていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29	0	0	1		・支援プログラムは今年度中に公表する予定です。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28	2	0	0	・前期・後期で、達成できたこと、未達成のことをしっかり伝えてくれる。 ・支援計画作成の面談の際には、子どもを別室で見てください、助かりました。	・ご意見ありがとうございます。 今後もお子さんや保護者の方のニーズや状況を踏まえた支援計画の作成に努めていきます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27	3	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27	2	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	28	2	0	0	・毎週ある活動はあるが、毎日ではないため、あきない。遠足が毎年同じなのは気になる。 ・毎月カリキュラムが変わり、新しく楽しいカリキュラムが追加され、とても工夫されています。	・ご意見ありがとうございます。 今後もお子さんたちが楽しめるようなカリキュラムを実施していきたいと思えます。 ・遠足につきましては、ここ数年鉄道博物館に行っていますが、今年度は前年度から大きく成長されたお子さんの姿を見せていただくことができ、同じ場所の良さも感じることができました。更に皆様にとってより良い場所の検討もさせていただきます。
11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	7	4	13	6	・お庭をかりたりする交流はある。 ・まだ機会がありません。	・ご意見ありがとうございます。 コロナ過で数年実施できなかった田島保育園との交流保育を今年度末に実施する予定です。	
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30	0	0	0			

保護者への説明等	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29	1	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	2	1	7	・勉強会が定期的にあります。	・ご意見ありがとうございます。 今年度は作業療法士、理学療法士、言語聴覚士の方々から、保護者向け勉強会を実施していただきました。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	28	2	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27	2	1	0	・親子通園日などの際に相談し、助言をいただいています。	・ご意見ありがとうございます。 今年度は個別支援計画の面談以外に、年度の初旬に面談を設けさせていただきました。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28	0	1	1	・職員の方々、皆さんが優しくくださいます。 ・よく声かけをして下さるので、相談しやすいです。	・ご意見ありがとうございます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	3	3	6	・運動会等、家族参加できるイベントがあり、交流できるのがいい。 ・お昼ごはん時間や自由遊びの時、親同士のコミュニケーションがとれます。 運動会では、きょうだいの参加させていただきました。	・ご意見ありがとうございます。 今年度の運動会は、数年ぶりに家族の方々にも参加していただき、お子さんたちの頑張っている姿を見ていただくことができました。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	3	0	1	・その場でだったり、後日時間を設けてくれるのでありがたい。	・ご意見ありがとうございます。 今後もお子さんのこと、保育のこと、相談等がありましたら、どの職員でもかまいませんのでお声掛けください。保護者の皆様と一緒に考えていきたいと思っています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	1	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18	3	1	8	・手紙やメールで案内がしっかりきます。 ・発信されるのが遅いと思う。	・ご意見ありがとうございます。 今後、行事等のお知らせを早めにお渡しできるようにしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	0	0	5	・きちんと保護者に連絡がきます。	・ご意見ありがとうございます。 今後も個人情報の取扱いには留意していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	1	0	5	・定期的に訓練があるので、子ども達もいざという時、落ち着いて行動できそう。 ・しっかりマニュアルが作られているだろうと思うが、保護者に周知されていないので実際に何かあった時の保護者の動きが分からない。(避難訓練以外で、事故の時等。)	・ご意見ありがとうございます。 避難訓練は様々な状況を設定して、月に1回実施しています。 ・左記のマニュアル等につきましては、保護者の皆様にご協力をいただけたところをおたえできるようにしていきたいと思っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24	1	0	5	・定期的に訓練があるので、子ども達もいざという時、落ち着いて行動できそう。	・ご意見ありがとうございます。 年度初めは突然の訓練にびっくりしてしまうお子さんもいらっしゃいましたが、毎月の訓練で落ち着いて参加できるようになりました。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	0	0	4	・年に1回引き渡し訓練がある。 ・安全対策もどんどん増やして過ごしやすくなるよう対応してくださっています。	・ご意見ありがとうございます。 安全対策を定期的に見直していきます。

	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	1	0	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すぐ電話をくれて状況をしっかり教えてくれるので安心です。</li> <li>・すぐに報告があり、対策も説明していただき、その後しっかり実行されています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見ありがとうございます。</li> <li>万が一、怪我や事故が発生した場合は、速やかに保護者の皆様に詳しくお伝えしていきます。</li> </ul>
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	28	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・嫌がることなく通所しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見ありがとうございます。</li> <li>ありがたいお言葉をいただき、大変励みとさせていただきます。お子さんや保護者の皆様が楽しく、また実りある日々を送ることができるよう、全職員が一丸となって精進してまいります。</li> </ul>
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	25	4	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行き渋りはあっても、バスが来たら乗るし、園では楽しく過ごさせています。</li> <li>・全てのカリキュラムを楽しそうにニコニコ参加しています。</li> <li>・母子分離にまだ不安があるようです。</li> <li>・毎回回をするか、とても楽しみに通わせていただいています。</li> </ul>	
	29	事業所の支援に満足していますか。	29	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成長できたことが多くて、日々の生活も助かってます。</li> <li>・家や幼稚園ではできない体験がさくらんぼではできるので。</li> </ul>	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		療育センターさくら草 たんぼぼ		公表日		令和7年 2月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・通園グループ3組と個別指導、また通園グループ3組と母子グループが同時に行われる日は部屋数が増えるとよい。</li> <li>・特に天候が悪い時等はもう少し部屋数があったり、スペースが広いと思う。</li> <li>・水道やトイレを2クラス共有している。数が足りないと思う。マックス2クラス(20人)で男2女2トイレを共有していることになる。</li> </ul>	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容に応じてヘルプ職員をいれるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況によって、子どものタイプによって足りないと感じる。</li> <li>・医療・福祉一元化となったので、両施設で職員数の調整ができるとよいと思う。定められた職員数はいるが、行き届いた支援をしていくためには、もう少し職員数が多いと良いと感じる。</li> <li>・個別対応で職員1人が付くと全体が回らないと感じることがある。</li> </ul>	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	14	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスも分かりやすいように果物の絵カードがガラスの入口のところに貼ってある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもがわりと簡単に手が届いてしまう所に鍵がある。工夫はしているが限界がある。</li> </ul>	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掃除や消毒を毎日行っている。ホールも完備されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おもちゃの消毒はもう少ししっかりやった方がよいと思います。(口に入れたりしているので)</li> </ul>	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが急病等になった場合に使用できる医務室がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静養室内が乱雑で落ち着けるスペースになっていないと思う。</li> </ul>	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	12	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務に追われ、振り返る時間を確保できない。</li> </ul>	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用児の呼名や持ち物の確認について意識していけるように、呼びかけを朝の会で行っている。</li> </ul>		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に1度の職員会議などで実施されていると思う。</li> <li>・月1ペースで職員会議がある。</li> </ul>		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度実施。</li> <li>・第三者により外部評価を行っている。</li> </ul>		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に1度、職員が研修を実施しているので学ぶ機会がある。</li> <li>・研修の案内を朝の会や職員個人に声をかけ、受講する機会を設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援に関する研修や、管理職からの日常的な指導や評価があるとよりよいと思う。</li> </ul>	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度中に実施予定。</li> <li>・今後予定している為、準備をしている。</li> </ul>		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	14	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントが端的にまとまっているとよいのでは。遠城寺検査と課題一覧表をアセスメントの材料と捉える。</li> <li>・作成するにあたり、ニーズ調査を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行えているが、適切かどうかは、判断しにくい。</li> </ul>	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児発管に提出する前に、各クラス担任で話し合っって作成にあたっている。</li> </ul>		

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15	0	・保護者から承諾を得た計画は、支援に携わる職員全員に回覧し、共有している。 ・支援計画の回覧を行い、共有を図っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14	1	・発達検査として遠城寺式を取り入れている。	・インフォーマル、標準化されたアセスメントは少ない。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14	1	・クラス担任で話し合い、その子に合った支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15	0	・1人がベースをつくった上で他の担任にも目を通してもらい、クラスで毎月のカリキュラムを作成している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	2	・OTは固定しないようにしている。 ・子どもたちの課題に合わせてクラスによって異なっている。	・曜日固定などになっていないが、子どもによっては活動内容に飽きてしまっている児がいるように思える。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12	3	・集団活動が主だが、自由あそび時に個々のあそびを保障している。 ・状況に応じて、個別対応し、場所を変えてクールダウンなど行っている。	・個別支援の機会をもっともてるような工夫ができるとよりよいと思う。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15	0	・朝の会で毎日必ずその日行う活動内容や職員の動きを共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14	1	・クラスで振り返る機会がもてることで支援の内容が深まると感じている。 ・その日気になったことなどを、クラス内で話し合ったりしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14	1		・日によって記録が「○」で終わってしまうことがある。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	0	・6か月に1度モニタリングを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	2	・子ども状況をよく理解した者が参画することが難しい場合でも、事前に話を聞いたり、その子どもの様子を見たりして会議に参画するようにしていると思う。	・参加する機会が少ない。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15	0	・必要に応じて保育所等訪問支援を行っている。	・教育の関係機関と密になった方がよい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	4	・必要に応じて併行している機関と電話連絡などで情報の共有を図っている。	・曖昧さがある。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	1	・学校と引き継ぎを行っている。 ・必要に応じて電話等で情報の共有を図っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	14	1	・子ども部会に参加し、地域との連携を図っている。 ・実務担などを通じて、他のセンターと情報共有を行っている。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	15	0	・市の職員からの研修が受けられることはとてもありがたい。 ・市の専門職に話を聞いたり、講義等してもらっている。	
30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	11	4			
	(31は、事業所のみ回答)					

保護者への説明等	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	9	・保護者も活動に参加する日(親子登園日)を設け、共通理解を図っている。	・今はほとんどない状況である。隣の保育園とグループ活動時など交流がもてるとよい。 ・コロナ禍で保育園と交流する機会がなくなってしまったようだが、復活させても良いと思う。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15	0	・保護者も活動に参加する日(親子登園日)を設け、共通理解を図っている。 ・親子日に子どもの状況を伝えている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14	1	・専門職による講義がある場合は、手紙を配布して情報提供を行っている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	0	・紙面を用いて説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	0	・支援計画を作成するにあたり、ニーズを把握するためニーズ調査を行っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	15	0	・面談時、作成した支援計画を提示しながら説明を行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15	0	・相談があった場合、クラス間で話し合い面談を設けるなどしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	13	2	・運動会の時、兄弟の徒競走があった。	・きょうだい支援は現在は行っていないと思う。 ・兄弟同士の交流が夏休み期間などに設けられるとよいのではないかと。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	0	・ドアの指はさみで事故があった時に、すぐにドアストッパーを用意した。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	15	0	・通園グループは毎月おたよりを発行している。また週1回SNS上で園の情報を発信している。 ・感染症等の緊急連絡は一斉メールで保護者に伝えている。 ・毎月のたよりの他、SNSでの発信を行っている。 ・週1でSNSを更新し、活動の様子を伝える。一斉メールなどもよく活用している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	1	・パソコンには持ち出せないよう施錠がされている。 ・キャビネットは施錠している。	・何かあった時にすぐに連絡が行えるように連絡先をひとまとめにしてあるが、紛失する可能性もなはないと思う。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15	0	・職員と保護者の情報伝達のツールとして連絡帳を使用している。 ・ジェスチャーや絵カードを用いている。 ・写真カード等を使用して、視覚でも分かるようにしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	8	・利用児のいない日に施設公開を実施している。	・療育センターは、防犯の観点から難しいと思う。 ・地域住民を招待するほどのスペースがないと思う。
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	2	・感染症対策として看護師より伝達があった。発作時の対応マニュアルも各クラスに置いてある。	・家族にマニュアルは伝え切れていない。 ・マニュアルはあるが、訓練をしていないものがある。	
46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15	0	・毎月避難訓練を行っている。		

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15	0	・入園前に同センター内の外来部門で健康診断を行い、その結果を看護師より伝達してもらっている。 ・発作時の対応マニュアルが各クラスにある。	・緊急時対応訓練を定期的に行えるとよいと思う。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15	0	・医師の指示書の元、看護師や栄養士にも共有して対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15	0	・角がある部分や子どもがぶつけた箇所について再度ケガしないように保護クッションなどをとりつけたりする。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	15	0	・安全確保のためにカギの施錠など、支援計画に記載されている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	0	・ヒヤリハットがあった際には、朝の会で伝えている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15	0	・研修内でグループワークがあり、どのような支援が虐待にあたるのか、話し合う場が設けられた。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	14	1	・身体拘束について、保護者との話し合いの上で決定している。	